

# 九大病院だより

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。

## 注目される高度先進医療

高い医療水準や施設、設備を持つ病院が承認される高度先進医療（3頁に解説）が最近注目を浴びています。承認病院は「特定承認医療保険機関」と呼ばれ、九大病院は平成12年7月以来、9種類の医療技術がこの承認を受け、難病の患者さんたちの救命や患者さんのQOL（生活の質）の改善に活躍、注目を集めています。

最近では8月末に日本臓器移植ネットワークによって、国内38例目の脳死患者さんから提供された膵臓と腎臓を臨床・腫瘍外科の杉谷篤講師が30歳代男性の1型糖尿病患者さんに同時移植しました。手術は午後4時過ぎから始まり、夜中の11時前まで続き、経過は良好です。

膵臓移植の高度先進医療承認は全国で初めて、昨年12月に九大病院が承認を受けました。我が国では内因性インスリンが不足

した1型糖尿病患者さんだけが膵臓移植が認められており、臓器移植法がスタートしてから全国で21例の移植のうち九大病院ではこれまで8例の膵臓、腎臓同時移植、1例の腎臓移植後の膵臓移植を行っています。しかし、それでも平均年齢38歳という患者さんたちが28人も移植を待っており、これらの患者さんたちは九州はもちろんのこと沖縄、さらに静岡、愛媛、東京と各地にまたがっています。

さらに、九大病院はその他の先進医療にも着実に実績をあげているほか、心臓移植も一例目を実施しており、高度先進医療の承認が待たれています。

杉谷講師は、「病気に苦しむ患者さんに一日も早く移植できるようにしたい。患者さんたちが自分で医療を選択できる医療特区のような制度ができればいいと思います」と話しています。



摘出チーム準備開始



## コラム

### 九大病院界限—旭地藏尊—

病院の正門を出て大学通りを右に少し行くと、右手に崇福禅寺の大きな門が見えます。短い間でしたが、学生時代この寺に寄宿し雲水と生活を共にした事があります。黒田家ゆかりの寺として、また臨済宗の僧が修業する専門道場としても有名です。この寺の広い境内の、松林の一面に、お地藏様を祀ったところがあります。旭地藏尊といわれていますが、大変御利益のあるお地藏さまのようで、参詣する人が多く、本堂は蟻燭の火と線香の煙が絶える事はありません。本堂の前は石畳の歩道になっているのですが、早朝あるいは夕方、ここでお百度を踏んでいる方をよくおみかけします。掲げてある絵馬などを見ると病氣快復を祈願するものが殆どで、大学病院に入院中の患者さんの家族の方も多いのではないかと思います。

とみなが りゅうじ

九大病院心臓外科教授 富永 隆治

MESSAGE from Ryuji Tominaga



心臓外科では、かなり安全になったとはいえ、大学病院の特殊性から、まだまだ危険性の高い手術も多く、患者さんや御家族の心労はひとかたならぬものがあるかと存じます。患者さん自身の生きたいという思いや、寒い冬の朝、雨のなかでも裸足になって一心不乱にお百度を踏まれる患者さんの家族の思いをしっかりと受け止めることが医療の原点と考えています。私たち心臓外科は、このことを踏まえ、内科、小児科、麻酔科はもとより、臨床工学士、手術場、ICU、病棟としっかりと連携し、過誤のない最善の医療を心掛けています。

歯周病科は昭和42年歯学部病院創設時に第一保存科として設置され、平成4年に口腔機能修復科・歯周病科と名前を変え現在に至ります。

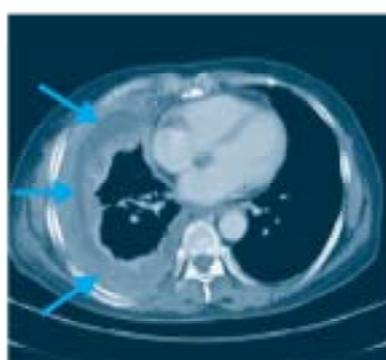
歯周病は歯垢中の細菌が原因で、歯肉や歯槽骨など歯を支えている組織に炎症がおこる病気です。歯周病に罹患する人は加齢に伴って増え始め、40代以降では歯を失う原因のトップは虫歯ではなく歯周病になります。自覚症状が無い場合も多く、知らない間に悪化しているのが歯周病の怖いところです。また最近では、歯周病が糖尿病、動脈硬化、誤嚥性肺炎、低体重児出産などに影響を与える事が報告されており、全身管理における歯周治療の重要性も注目されています。

歯周病科では、まずよく検査・診査を行い歯周病の状態を把握し治療計画を立てています。基本的な治療として、正しい歯磨きの仕方の指導と歯石や歯垢の除去を行い、炎症の改善を図ります。更に、他科との連携により虫歯、噛み合わせの調整、歯列不正の矯正などを行います。歯を支えている組織の破壊が著しい場合は、必要に応じて歯茎の手術（歯周外科処置）や最近注目されている歯周組織再生誘導法（GTR法、エムドゲイン療法）を行う場合もあります。

歯周病の治療は、快適な食生活を行う上で欠くべからざる治療であるばかりでなく全身的な疾患の予防にも携わっています。歯周病科では患者様の気持ちやご要望を大切に診療に心がけております。歯肉からの出血や歯の動揺など、歯周病かな？と思ったら是非ご相談ください。（歯周病科 TEL：092-642-6425）

## アスベストの被害について

アスベストによる健康被害についてはマスコミでも大きく取り上げられ重大な社会問題となっています。アスベストを吸い込むとさまざまな呼吸器の病気をひきおこすことが知られていますが、今回はアスベストとの関連



厚くなった胸の膜（矢印）が肺を取り囲んでいます

が強い中皮腫についてお話します。中皮腫の多くは肺を包む胸膜と呼ばれる膜から発生しますが、おなかの中にもできることもあります。アスベストの吸入から中皮腫ができるまで20～40年ほどかかると言われています。胸膜中皮腫の症状としては咳が出たり胸が痛くなることが多く、進行すると息苦しくなってきます。画像検査では厚くなった胸の膜（写真）や胸にたまった水を認めますが、軽い病変はCT検査ではじめてわかることもあります。中皮腫を診断するためには検査で胸にたまった水や厚くなった胸の膜の一部取ってきてよく調べる必要があります。治療は外科治療と内科治療がありますが、病気の進行状況や全身状態によって異なります。他にアスベストに関連した病気としては一時的に胸に水がたまる良性のものから、肺が固くなる肺線維症や、肺癌などが知られています。仕事でアスベストを取り扱っていた方は定期的に検診を受けるようにしましょう。（呼吸器科 TEL：642-5388）

## 部門紹介 子どものこころと発達外来

子どもの心の問題への対応が広く求められ、心身の育ちを担う小児医療機関にも大きな期待がかけられています。たとえば今年度から学校での取り組みがスタートした軽度発達障害（学習障害・注意欠陥多動性障害・高機能広汎性発達障害）をもつ子どもの問題は、教育から心理・医療・福祉まで幅広い支援が求められています。育ちを見守る家族のストレスに配慮した総合的ケアの重要性もわかってきています。

このようなニーズにこたえ九州大学病院では水田病院長を代表者に母子総合研究リサーチコアを立ち上げ、母子関係障害の予防を目標に掲げています。そこで大学病院の総合的な診療機能を生かし子どもと家族のウェルビーイングを支援する臨床のコアとなる“子どものこころと発達外来”開設の運びとなりました。精神科は厚生労働省研究班に選ばれ、この外来で子どもの心の診療・人材教育のあり方を検討し、診療内容の充実を進めます。

この外来では精神科児童診療チームと小児科が共同で、さらに学内の九州大学大学院人間環境学府総合臨床心理センターと連携して、総合的な診療にあたります。

受診は電話予約制で予約コーディネーターが対応します（092-642-5624）。初診は精神科で受付け、子どもの診療スペースで初回診療を行い、小児科・精神科・臨床心理の専門的視点から総合診療プランを作成後、小児科外来の専用診療室での精密検査、臨床心理センターでの療育などのサービスを提供します。子どもと家族の多様なニーズに即応できる診療体制作りにも努めたいと思います。



診療室（室内）

夕方、ボランティアより帰宅した時にマンションの駐車場で、お顔は見たことがあるが話をしたことがない女性から「先日九大でお見掛けしました。車椅子介助で忙しそうで声を掛けなかったのですが、ボランティアをしていらっしゃったのですね。失礼ですが、お年は」と聞かれ答えると「エー私より若いと思ったのにそんなお年だったのですか、私も見習って生甲斐を見付け元気になる努力をしないとイケませんね…」と話し掛けられました。

九大外来でのボランティアは、私にとって長年、毎日やって来ているいろいろな障害児のお相手、障害者の介助又老人施設でのボランティアの集大成の様に思えます。お子様連れのお母さんと子供さんにとっては「やさしいオバチャン」として、その他の方々には、気軽に話し掛け相談もしやすいボランティアとして、私は、自分の生甲斐として今後も元気で楽しく頑張りたいと考えていますので、皆さんどうぞよろしく。

白井 敬子

## 外来案内ボランティア活動

平成13年春以来、外来案内ボランティア活動をさせて頂いております。

幼な友達の見舞いのため九大病院を訪れた際、偶然逢った昔の同僚に声をかけて頂き、外来の案内ボランティア活動をやってみないかとさそわれ、果してお役に立てるかと一抹の不安もありましたが、終始あたたかく受入れて下さる患者様と病院の皆様に後押しされ現在まで大過なく続ける事ができました。

最初の目標は一年間続けることでしたが、無理なく「自分の出来る事を出来る時に」をモットーに今後も続けられたら幸せなことです。

このような機会を与えて下さった関係者の皆様に感謝の気持で一杯です。

有難うございます。

池田 サチ子



## 高度先進医療とは

一般の保険診療で認められている医療水準を遙かに超えた最新の先進医療技術として承認された医療行為です。先進的な医療技術と一般の保険診療の調整をはかるために設けられ、この医療を実施する病院は、高度な医療技術を持つスタッフと質、量ともに十分な施設、設備が必要で、高度先進医療をする病院は専門家や関係審議会にて認められ承認された所に限られています。

この制度は昭和59年に発足、承認された高度先進医療は111種類、これを実施する特定承認医療保険機関は108カ所です。81カ所が大学病院、国立病院が4、公立病院13、自治体病院4、医療法人1、財団法人2、独立行政法人1、その他2（平成17年7月現在）となっています。九大病院が高度先進医療の承認を受けているのは、腹腔鏡下肝切除術、脳死肝臓移植手術、焦点式高エネルギー超音波法、内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術、悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断、インプラント義歯、重症BCG副反応症例における遺伝子診断、脾臓移植術、樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法の9種類です。わかりやすく言うと、患者さんが一定の自己負担を払うと、上記のような高度先進医療が受けられるという意味です。

高度先進医療の医療費は①高度先進医療にかかる費用（特別料金）は患者さんの自己負担で、この料金は医療の種類や病院によって違います。②特別料金以外の通常の治療である診察、検査、投薬、入院料などは健康保険の適用になります。一般の保険診療と共通する部分は特定療養費として保険給付され、高度先進医療にかかわる部分が自己負担です。例えば九大病院で脾臓の移植手術を受けたAさんの場合、医療費総額が755万8,530円で保険給付される特定療養費は639万8,030円、自己負担の高度先進医療費は116万500円です。Bさんの場合も医療費総額は481万4,830円で、特定療養費は365万4,330円、高度先進医療費は同じく116万500円となります。

高度先進医療は対象疾患の種類、承認病院とも今後増える傾向にあり、普及性のあるものは一般保険診療に導入されます。

### お知らせ 個人情報漏えいのお詫びについて

この度本院を退職した医師が、自身が診察した元患者様の個人情報を持ち出し、開業の挨拶状を郵送するという不祥事が発生いたしました。

個人情報の保護につきましては、これまで法律に基づき、院内で規則を作り遵守に努めておりましたが、このような個人情報の漏えいがありましたことについて深くお詫びを申し上げます。

今後は、二度とこのような事態が発生しないように再発防止策を講じるとともに、教職員に対し一層の周知徹底を図り、個人情報の保護に努めて参ります。

※奨学寄付金とは、教育・学術研究の奨励及び病院運営の助成等のため、個人・法人等から寄付金として受け入れるものです。詳しくは、左記係へお問い合わせ願います。

# 疼痛外来からのお知らせ

疼痛外来をお知らせします。九州大学病院別府先進医療センターでは、痛みでお悩みの方の相談、治療を受け付けています。大学病院の疼痛外来と聞いて、すぐにペインクリニックを思い浮かべ、痛み止めの注射を想像する方が大方だと思います。別府センターの疼痛治療は、少々異なります。別府の地の利を活かした治療法があるのです。ずばり温泉治療です。当センターはリウマチ治療では昔から定評があります。附属する慢性疾患診療部では、いろいろな身体障害の機能回復を行っています。ここで、慢性疼痛の温泉入浴療法、氈泥浴治療などが受けられ、リラックスした気分で治療に専念できるのです。身体を動かす時の痛みや、古傷の痛みなどには最適です。もちろん帯状疱疹、急性腰痛などの急性の痛みに対しては神経ブロックを含む薬物治療が行われます。痛みの原因は、傷によるもの、神経の損傷によるもの、血液の流れが悪くて起こるもの、癌によるもの、精神的なものさまざまです。従って痛みの治療には、身体全体を見た治療法が必要です。薬物治療と温泉療法を取り入れた治療が最適です。外来日は限られていますが病院内の各診療科を通じて、気軽に受診し治療の相談を受けることができます。



温泉泥浴

●九州大学病院  
別府先進医療センター  
疼痛外来  
外来日 毎週木曜日午前中  
連絡先 TEL 0977-27-1700  
FAX 0977-27-1708

## 外来診療日一覧

お尋ねは、下記の診療科等に直接お電話願います。午前中は大変込み合い、電話がかかりにくい場合があります、予めご了承下さい。(市外局番は「092」です)

科名(通称)	初診日	再診日	科名(通称)	初診日	再診日
1 総合診療部 (642-5300)	月～金	月～金	1 第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金
1 内科(初診) (642-5300)	月～金	月～金	1 整形外科 (642-5504)	月・水・金	金
2 内科(再来) (642-5302)			2 脳神経外科 (642-5533)	月・水・(金)	月・水・(金)
1 産科産科診療部 (642-5421)	月～(金)	(金)	2 心臓外科 (642-5565)	月・水・(木)	(水)・(木)
1 先端分子細胞治療科 (642-5996)	月～金	月～金	2 小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金
2 心療内科 (642-5335)	月・木	(火)・(水)・(金)	2 皮膚科 (642-5596)	月・水・金	(火)・(木)
2 神経内科 (642-5349)	(火)・(木)・(金)	月・(水)	2 泌尿器科 (642-5615)	月～金	月・水・金
2 循環器内科 (642-5371)	月～木	月・(水)	1 精神科神経科 (642-5640)	(火)・(木)	月～(金)
2 呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金	1 腫瘍科 (642-5660)	月・水・金	月～(金)
産科婦人科 (642-5409)	火・木	月～金	2 耳鼻咽喉科 (642-5681)	(火)・(木)	月・水・(金)
2 児童母子センター (642-5900)			1 放射線科 (642-5705)	月・水・金	月～金
2 小児科 (642-5430)	月～金	月～金	2 麻酔科衛生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金
1 先端理工学診療部 (642-5993)	月～金	月～金	別 歯科医療センター (電話は各診療科へ)	月～金	月～金
1 第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金			

※ただし、歯科麻酔科の初診日は月・水・金のみ。  
※○印の曜日は予約が必要です。

診療施設等	電話番号
救急部受付	642-5873
時間外受付	642-5163
総合外来受付	642-5138
入院受付	642-5149
公費申請受付	642-5167
地域医療連携室	642-5165
支払い窓口	642-5169
リハビリ受付	642-5862
医療相談	642-5914
在宅医療連携室	642-5185

別科センター診療科	電話番号
口腔顎顔面診療科	642-6471
口腔総合診療科	642-6490
全身管理歯科	642-6483
口腔ケア・予防科	642-6421
小児歯科	642-6465
矯正歯科	642-6460
歯周病科	642-6425
歯内治療科	642-6430
咬合治療科	642-6435
義歯科	642-6440
顎顔面口腔外科	642-6445
642-6450	
歯科麻酔科	642-6479

- 休診日  
土曜日、日曜日、祝日、  
年末年始(12/29～1/3)
- 受付時間(窓口)  
8:30～11:00  
自動再来受付機  
8:15～11:00
- 外来玄関開閉時間  
7:00～18:00

### 歯科医療センター

- 受付時間  
初診  
(窓口)8:30～11:00  
(口腔ケア・予防科の口臭  
クリニックは、火・木のみ)
- 再診  
(窓口・自動再来受付機)  
8:30～15:00  
(矯正歯科は、  
8:30～16:00)

- 注
- 予約がある場合はこの限りではありません。
  - 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！  
※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

(代表) 092-641-1151  
〒812-8582  
福岡市東区馬出3丁目1番1号